

第706回番組審議会報告

2026年3月3日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長、栗栖義臣副委員長、小川明子委員、川瀬慈委員、小島幸保委員、曾我部真裕委員、津村記久子委員、長谷川豊委員

■毎日放送出席者

虫明社長、酒井常務、中野常務、高山取締役、磯澤取締役、奥田取締役、田淵総合編成局長、羽根報道情報局長、東田制作局長、東野コンプライアンス局長、東郷広報部長、中西番組審議会事務局長

◆議事の概要

2025年度最終の審議会となるため、個別の番組の審議ではなく、「MBSの番組・放送全般」について意見交換した。

【各委員の主な意見は次の通り】

一 『ニュース、報道番組全般』

*イラン情勢の報道量が圧倒的に少なく、かつての湾岸戦争時のような緊張感がなく絶望感を覚える。

*イラン攻撃の報道で、アメリカ寄りになるなどカメラリテラシーや映像リテラシーがスタッフに伝わっているのか気になった。

*報道番組におけるコメンテーターの役割とその責任を丁寧に見直すべきではないか。生放送では十分な知識がないまま発言する危うさがあり、瞬時に訂正できるだけの幅広い知識と感覚を持ったコメンテーターやキャスターが育っているか疑問に感じる。

一 『選挙特番』

*今回の開票特番は、大阪中心、維新中心でエンタメ色が強く、中道改革連合の大敗など多角的な分析がなく違和感があった。

*大阪は府・市トップが維新で小選挙区もほぼ同政党という特殊な地域であり、首長の発言を一方向的に垂れ流すことにならないよう、政治への影響の大きさを常に意識してほしい。

—『よんちゃんTV』

*社会で話題のニュースをすぐに取り上げ、生放送で現段階でわかっていることを伝えようとする姿勢や緊張感は評価できる。

*万博、吉村知事、大谷選手ばかりを取り上げる夕方のニュース番組に疎外感を感じ、民放テレビを見なくなった。視聴者の機嫌を取るだけでなく、知らないものを見せる機能を取り戻してほしい。

—『バラエティ番組全般』

*『初耳学』などのバラエティ番組は、見ていて楽しい中に教養が身につくなど、テレビ局が作るコンテンツの質が高く期待している。今後も頑張してほしい

—『映像'26』

*『弾薬庫が増える町』は、権力を持つ人たちとは反対側のカメラ位置から記録することの意義をすごく感じた。防衛政策の転換が地域社会に及ぼす影響を長期取材で丁寧にすくい上げ、地域の日常と国家の安全保障が地続きであることを示した秀逸な番組だった。

—『MBS マンスリーレポート』

*作り手がどういう思いや体制で取り組んでいるのか裏側を見せることで、一方向的な批判や無理解による批判を緩和する効果もあり非常に良い番組だと思う。

—『テレビ全般に対する要望』

*スポーツ中継や生放送など、テレビならではの「みんなで一緒に見るワクワク感」を今後も大事にしてほしい。

*予想がつかない、何が見られるかわからない、でも一定のクオリティーがあるというのがテレビ。テレビに期待するのは、チャンネルを変えたら思いも寄らない何かが見られること。テレビには知らないものを見せる機能を取り戻してほしい。

- *MBSのよさは、関西に密着して、視聴者から共感してもらえるような番組がテレビ・ラジオを含めて多いことだと思う。街ロケが多く、関西の市井の人々の考え方や街のよさをうまく伝えることが得意だと思う。
- *放送局は公正に編集してくれるだろうという期待を多くの人が抱いている。番組への協力や参加は信頼関係が必須であり、もしそれが失われたら長期的には番組を作ること自体が持続できなくなるだろう。
- *SNSのフェイクニュース対策として、AIなどの新しい技術を活用し、客観的な見極めやリスク判定を検討すべきではないか。
- *断片的な情報が氾濫し、感情的な言葉がソーシャルメディアなどを通して一瞬で拡散されてしまう現代だからこそ、テレビには、数の論理に押し流されず、事実を積み重ね、視聴者が立ち止まりじっくり考える時間を保障する胆力を期待したい。

【会社側の説明および質問への回答】

- *コメンテーターやキャスターについて戦略的な育成ができているかというところはもう一回立ち返って考えなければならない。
- *視聴率のことばかりを考えすぎると番組が面白くなるかもしれない。組織で作る部分と個人の力で作る部分のバランスがテレビ現場の一番大事なポイントではないか。
- *自分たちがこういう意味で表現したつもりが、視聴者にとっては違う受けとめ方をされるかもしれないという視点がバラエティを作る際に必要だと感じた。
- *今の時代、SNSの影響が非常に大きく表現がしづらい時代になっているが一方でテレビに対する視聴者の信頼度が高い裏返しとを感じる。さらにわくわくするようなコンテンツを届けるよう知恵を絞っていきたい。

以 上